

広報誌

 TAKEMOTO  
HOSPITAL

# 菜の花だより

あなたのための医療でありたい

謹賀新年

第39号

2016年1月  
発行

医療法人創治 竹本病院



# 新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。  
皆さま方におかれましては、本院の病院運営にご協力いただきまして大変お礼申し上げます。  
今年4月には2年に1回の定期的な診療報酬の改定がございます。

超高齢化社会による社会保障費（年金・医療保険・介護保険）の増加により、国の財政は大変厳しくなっております。今年の診療報酬もマイナス改定であり病院経営には増々困難な状況であり、さまざまな方針を考えることが大切と思われます。

その一つといたしまして、急性期病棟の一部分を地域包括ケア病棟に転換し、退院後の地域での在宅医療にも力を注ぎ、訪問看護・訪問リハビリの充実も大切な部分と考えて、さらに進めていく所存でございます。

又、本年は日本医療機能評価機構の5年に1回の再認定のため再度審査を受ける年であり、私どもはさらに病院の充実を図り認定基準病院の取得をめざしております。今年も地域の皆様方に信頼され、お役にたてる病院を目指し「より良い医療」を提供できる様、職員と共に努力してまいります。

今後とも皆様方のご支援の程宜しくお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様にとりまして良い年でありますようお願い致します。

院長 竹本範彦



# 防災訓練を行いました



平成27年度2回目の防災訓練は災害対策委員会が主体となり、実施いたしました。今回は、日時を分けて消火訓練と災害対策本部を立ち上げ、情報収集をするという訓練（以下災害対策本部立ち上げ訓練）の2つを企画しました。

## シェイクアウト・消火訓練

平成27年12月9日（水）

消火訓練では「地震後の火災」というシナリオにし、当院初の試みとなる院内全職員対象のシェイクアウト（地震防災）訓練を取り入れました。実際の災害時は、職員自身が身を守ってこそ患者さんや被災された方々のサポートができる為、今後も継続して取り組んでいきたい訓練の一つです。



## 災害対策本部立ち上げ訓練

平成27年12月22日（火）

次に、災害対策本部立ち上げ訓練ですが、これも当院では初の訓練です。平成27年3月より発足した災害対策委員会ですが、平成27年の締めくくりとしてこの訓練を行いました。訓練対象は委員のみで行いましたが、今後は他の職員も参加させ、委員不在でも災害対策本部が機能できるようにしていきたいと思えます。



大地震発生!!



院内外から  
情報収集



情報をホワイト  
ボードに記載



# 卒後二年事例・症例研究発表会



当院では年1回、卒後2年目事例・症例研究会の発表を行っております。この会の目的は新社会人、及び入職し2年たった方に今一度、日常業務を理論付け、文章にし、客観的に見て疎かになっていることや、今まで気がつかなかった事柄などを洗い出し、発表することで今後の業務につなげていくというものです。

今年、リハビリテーション科2名が発表を行いました。

1例目は脳幹出血を呈した症例の発表であり、四肢、体幹の運動失調症の影響によって特に立位を必要とするADLにて介助者への負担量が重度である為、立ち上がり動作前の座位姿勢に着目した立位訓練を行うことで、下衣操作の介助量軽減に繋がった結果が出たため、今回の場で発表してくれました。

機能面では座位姿勢修正の後、立ち上がり動作訓練を行い、能力面では移乗動作、下衣操作訓練を行った。患者さんの自立心も徐々に芽生えていった。その結果として立ち上がりでは、動作前の重心位置の比較と座位姿勢を修正し、反復動作を行うことで自己修正が定着した。それに伴い移乗動作において下肢優位の動作が可能により、介助量軽減につながった。と語られていました。

2例目では「右側への恐怖心をなくして起居移乗動作獲得を目指す」をテーマにおいてプレッシャー現症の恐怖心軽減アプローチに取り組んだ事例を発表しており、訓練内容を熱心に語ってくれていました。

この卒後二年目事例・症例研究会も今年で10回目を迎え、卒後2年の方のみならず、ベテランのスタッフにも事例を通して気付かされることが多々あり、参加者からは「気持ちを新たに業務に取り組める」との意見も多く出ていました。今後も患者さんに心のこもった、より良い医療を提供できるよう努力させていただきます。

# 第17回

## 竹本病院関連施設合同発表会 開催



平成27年11月7日に第17回合同発表会を白藤園にて開催いたしました。竹本病院では毎年一回、当院及び当院関連施設によって、業務に関わる研究発表の場を設けています。この年一回行われる「合同発表会」では毎年、様々な職種の方々に発表いただいております。日頃の努力の成果が見て取れる素晴らしい研究成果が挙がっています。又その研究成果を参考にしようと、近隣地域の医療、施設関係の方々が多数出席され、発表する側、聞き手側の両方に実りあるものとなっております。第Ⅱ部の講演では、講師としてシニア産業カウンセラーの影山淳子先生をお迎えして「職場のメンタルヘルス」のテーマのもと、経験豊富な先生の体験談もふまえて、どなたでも理解しやすい内容であった為、大変有意義で興味深い講演でした。

この合同発表会では施設を超えて情報を共有し、それぞれの立場から皆さんと一緒に考え現場に持ち帰り、実践する機会になる事を目的に開催しています。



職場のメンタルヘルス ～ストレス・マネジメント～  
シニア産業カウンセラー 影山 淳子 先生



①青年期の高次脳機能障害に対する退院支援を経験して  
竹本病院 言語聴覚士 山崎 祐美



②寄り添う看護  
～拒食のある認知症患者にかかわった事例～  
渡川病院 看護師 出島 寿人



③回復期における家屋訪問・住宅改修についての意識調査  
竹本病院 作業療法士 入野 優也

### I 部：演題発表

- ①青年期の高次脳機能障害に対する退院支援を経験して  
竹本病院 言語聴覚士 山崎 祐美
- ②寄り添う看護  
～拒食のある認知症患者にかかわった事例～  
渡川病院 看護師 出島 寿人
- ③回復期における家屋訪問・住宅改修についての意識調査  
竹本病院 作業療法士 入野 優也

### II 部：講演

職場のメンタルヘルス  
～ストレス・マネジメント～

講師：シニア産業カウンセラー  
影山 淳子 先生

# 竹本病院・治優園 合同忘年会



昨年末、毎年恒例の竹本病院及び治優園の合同忘年会を四万十ロイヤルホテルさんにてとりおこないました。忘年会には、総勢225名も参加してくれ、おいしいお料理や、余興などに皆さん満足している様子でした。余興後半のくじ引き大会では、20万円相当の旅行券や大型液晶テレビなどの豪華賞品がだされ、大盛り上がりとなりました。また、永年表彰として竹本病院で勤続30年を迎えられた栄養科主任の吉井智美さん、地域連携室室長の野村由美さん、治優園からは、勤続20年の岡本幸子さん、松井孝洋さん、周治正英さんが表彰され、表彰状と金一封が贈られました。治優園、各メーカーの方々、当日はご参加いただき誠にありがとうございました。どうぞ本年も竹本病院を宜しくお願い致します。

＊みんなでワイワイ楽しい忘年会になりました＊



## 手打ちそば屋さん came



平成27年10月16日、当院館内にて出張手打ちそば屋さん came してくれました。打ち立ての美味しいお蕎麦を入院患者さんやスタッフも「おいしい、おいしい」といって喜んで食べていました。



スタッフ  
募集中

あなたの笑顔が  
活かせる職場



# 医療法人創治 竹本病院

## ワークライフバランス

当院では教育システム、育児支援の充実、多様な勤務形態を導入して、働きやすい職場作りを目指し、看護ケアの質向上へ繋がるよう取り組んでいます。

## 充実した福利厚生

特別休暇制度有り。  
結婚しても働きやすい環境です。  
(委託託児所有)  
長期勤務者には年1度ハワイ研修もあります。

## 自然豊かな西南地域

当院は高知県西南部の四万十川に面しており、周辺にはサーフィンや釣りなどが楽しめるスポットが数々ある為、休日など利用してリフレッシュできます。

## 募集職種

医師・看護師・作業療法士  
理学療法士

病院見学随時募集中



# 診療担当医表

平成28年1月現在

	1診	2診	3診	4診	5診
月	午前	竹本 範彦	藤永 泰宏	—	六浦 聖二
	午後	竹本 範彦	江川 徹	—	六浦 聖二
火	午前	田中 啓介 第2・4休診	竹本 範彦	門元 俊樹	山本 さくら
	午後	—	竹本 範彦	—	門元 俊樹 第1・3休診
水	午前	竹本 範彦	藤永 泰宏	—	六浦 聖二
	午後	竹本 範彦	江川 徹	—	六浦 聖二
木	午前	竹本 範彦	江川 徹	山本 さくら	六浦 聖二
	午後	竹本 範彦	藤永 泰宏 (要問い合せ)	大出 佳寿	六浦 聖二 (要問い合せ)
金	午前	竹本 範彦	藤永 泰宏	大出 佳寿	—
	午後	—	竹田 修司 (要問い合せ)	大出 佳寿	—
土	午前	竹本 範彦 第2・4休診	竹本 育聖 第1のみ 渡邊 利泰 (不定期)	—	—
	午後	—	—	—	—

循環器内科	竹本 範彦・藤永 泰宏・竹田 修司
内科	六浦 聖二・門元 俊樹・山本 さくら
呼吸器内科	江口 誠一
消化器内科	江川 徹
神経精神科	田中 啓介
内分泌内科・腎臓内科	大出 佳寿
総合内科	渡邊 利泰・竹本 育聖

## ■診療時間

午前9時～午後5時30分

土曜日 午前中

## ■休診

第2・4土曜日

日曜日・祭日（急患はこの限りではありません）



## ● 当院の基本方針

地域住民の健康の増進を図り、信頼される病院を目指し地域医療に貢献いたします

1. 地域に根ざした医療

3. 患者様中心の医療

5. 健全な病院経営基盤の確立

2. 医療レベルの向上

4. リハビリテーション機能の充実

## 竹本病院 ご案内

### ご案内図



### 交通案内

土佐くろしお鉄道  
中村駅より



タクシー

約5分



徒歩

約15分

## 患者様の権利章典

当院では、ご利用の皆様へより良い医療をやさしく安全に提供し、納得のいく医療を受けていただけるよう、努力しています。そうした私達の医療活動の前提として、患者様には以下に掲げられるような、「患者様の権利」があり、私達医療従事者にはそれを守り発展させる義務があると考えています。

あなたには、人格を持った個人として尊重される権利があります。

あなたには、必要かつ最善の医療を平等に受ける権利があります。

あなたには、十分な説明と情報提供を受けたうえで、治療方法などを自らの意思で選択する権利があります。

あなたには、あらゆる医療記録に記録されたご自分に関する情報の提供を求める権利があります。

あなたの医療上の個人情報、およびプライバシーは保護される権利があります。



竹本病院

広報 第39号 2016年 1月発行

〒787-0015 高知県四万十市右山 1973番地2

電話:0880-35-4151 FAX:0880-35-4155

E-mail: th-takemoto@poem.ocn.ne.jp

発行・編集  
竹本病院広報委員会  
編集長: 杉本 一等



医療法人創治 竹本病院

検索

スタッフ  
募集中

URL <http://takemoto-hp.com>

詳しい情報については、ホームページでご覧下さい。